

A-12 残雪期 奥穂高岳(3190m)

【山行日】2022年5月2日～4日

【CL】3028 【参加者】3570 3629

【コース】1日目：上高地 8:30…15:30 涸沢ヒュッテ（泊） 2日目：涸沢 7:00…ザイテングラード左側経由…10:15 奥穂高山荘 10:45…11:45 奥穂高岳…12:55 穂高岳山荘 13:10…13:30 涸沢岳…14:55 穂高岳山荘（泊） 3日目：穂高岳山荘 6:35…8:00 涸沢 8:30…横尾…11:50 徳沢 12:20…14:00 上高地

積年の願望が実現！ゴールデンウィークに奥穂高岳を登頂しました。

初日の5月2日、早朝4時に名古屋を出発し、平湯温泉からタクシーで一路上高地へ。朝7時ごろは平日のためまだ観光客は少なく、快適に徳澤・横尾に向かう。本谷橋から雪道となる。アイゼンはココから装着した。本谷橋からの道は小屋の方々が苦勞して雪切りした道で、途中途中にはベンガラ赤が吹き付けてあり明瞭な登山道に変身していた。涸沢ヒュッテの屋根が見える辺りから雪が降りだしてきた。到着するころには本格的な降雪となった。午後7時過ぎても外は雪が深々と降り積もり凡そ30cmは積もっている。ヒュッテの玄関で登山者たちと白出のコルまでのルート談義となった。新雪が30cmは積もったからあちらこちらでブロック雪崩、表層雪崩の発生が危惧された。

5月3日、奥穂アタックの日。ルート談義で懇意となった2人の登山者とふわく3人の計5人でザイテングラードの左側を進むこととなった。ザイテングラードの岩場側のルートで途中ハイマツ帯での急登ではダガーポジションでの登攀となったが頑張って登り切り約3時間弱で白出のコルに到着。

奥穂高岳の登攀準備を行い、3人で登ることになった。取付き付近は雪がついている程度で、梯子・鎖場を超えたあたりの雪壁ではダブルバイルでクライムアップ。穂のヒラリーステップ（エベレストのヒラリーステップの思い出し急遽名づけた）では気分が最高にハイとなるクライマーズハイの状態ですミットに到着。ジャンダルムや槍ヶ岳などに魅入ること15分。何と頂上は無風。下りに全神経を集中して下山開始。雪壁をバックステップでクライムダウン。長い雪壁は危険回避のため、敢えて岩稜帯をクライムダウンして鎖場・梯子に到達。2時間半程の行程だったが久々の充実感に溢れたサミットアタックだった。アタック終了後、涸沢岳には往復1時間も掛からない涸沢岳は奥穂に比べて難易度かなり低く、3度も登った仲間もいた。今回のサミットアタックでは涸沢ヒュッテから同行頂いた某カメラマン氏は海外取材の多い戦場カメラマンだそう。一緒に頂上まで頂いた仲間へ感謝！



さて、5月4日は下山の日。雪が結構締まっていて状態も良く、早朝に小豆沢を速攻下って下山することになった。登り3時間掛かったところ、下りは1時間弱で下り切ってしまった。徳澤園で昼食を食べて上高地に午後2時到着。上高地のバス待ちの列が500m。タクシーの列も長い。事前予約したタクシーで平湯に戻った。タクシーの運転手から高山の日帰り温泉の無料券を頂き、得した気分が入浴。高山市内で早い夕食を摂って帰宅した。ただ残念なことがひとつあった。高山の飛騨牛焼肉「灯り屋」が予約で満員。他の焼き肉屋も満員で諦めて寿司屋に行ったこと。やっぱり登山の後は「肉」でしょう！！（3028）